

国際交流基金開発教材紹介

『続 教科書を作ろう』 - 中等教育向け初級日本語素材集 - 』

『続 教科書を作ろう』は、平成11年3月に刊行した『教科書を作ろう』の続編です。『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』は、海外の中等教育段階での日本語教育を支援することを目的として企画・制作されました。日本語教育の目的、学習時間、学習環境などが異なる国や地域で、それぞれの事情に合った教材を作成するときに参考にしたり利用したりできる素材集です。この素材集を使って、学習者が無理なく、楽しく日本語を学べるような教材が開発されることを期待しています。



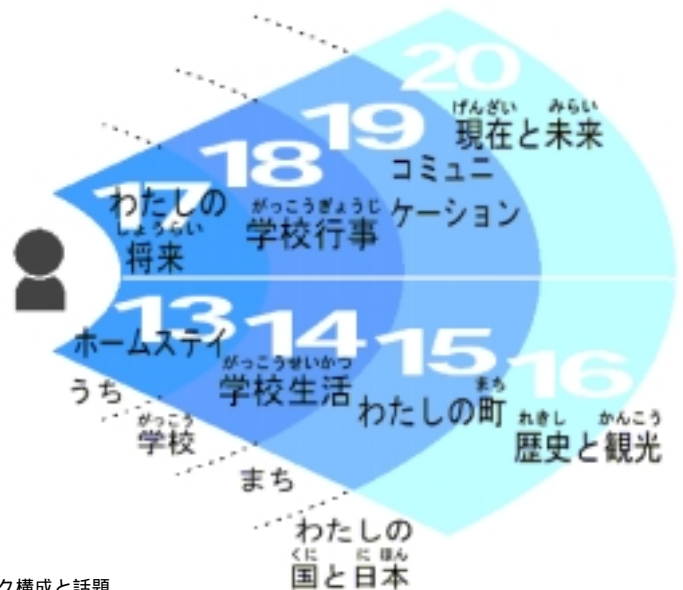
1. 『続 教科書を作ろう』とは

『続 教科書を作ろう』は、『教科書を作ろう』と同じように教材を作るとき、必要な部分を取り出して使ったり、こまごま例文を入れ替えたり、翻訳したりして、自由に使うことができる素材集です。

<概要>

対象とした使用者 たいしょうたいしやうしや	海外の日本語教材作成者、中等教育段階の日本語教師 かいがい にほんごきょうざいさくせいしや ちゅうとうきょうだんたいにかい にほんごきょうし
対象とした学習者 たいしやうがくしゅうしや	海外の中等教育段階の学習者 かいがい ちゅうとうきょうだんたいがくしゅうしや
学習段階 がくしゅうだんたい	初級後半（日本語能力試験3級相当） しよきゅうこうはん にほんごのうりょくしけん きゅうそうとう
内訳 うちわけ	「せつめい編」A4版118ページ 「れんしゅう編」A4版268ページ 音声テープ80分1本 おんせい ふん ほん

『続 教科書を作ろう』は、素材集であると同時に学習者の身近な話題にそった教材構成、学習段階のモデルを示しています。『教科書を作ろう』に続く学習段階として8つのブロックに分けられています。



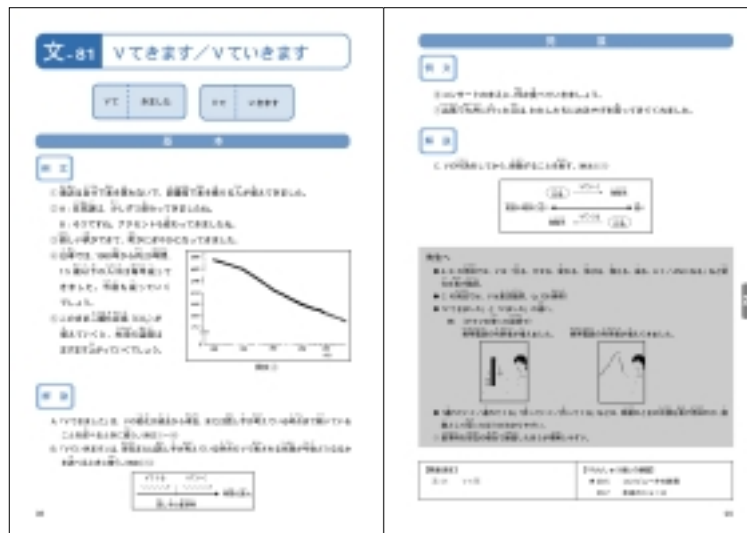
『続 教科書を作ろう』のブロック構成と話題

『続 教科書を作ろう』は、「せつめい編」と「れんしゅう編」の2編からできています。

「せつめい編」には、初級後半（日本語能力試験3級相当）の文法・文型48項目の構造と使い方についての説明及び理解を助けるための例文を載せました。ある学習項目の理解に最小限必要な内容からより詳しい内容まで3段階に分けて記述されていて、学習者に応じて学習内容を選択する際の参考になるように配慮されています。

<取り上げた文型・文法項目>

<p>13 ホームステイ んです Vたほうがいいです Vてはいけません Vてみます Vかた あげます もらいます</p>	<p>14 学校生活 V(られ)ます(可能) Vなければなりません Vなくてもいいです Vてしまいます A / AN / Vすぎます 可能形 までに</p>	<p>15 わたしの町 たら ても Aく / ANに / Nにします Vようにします より...ほう NとNとどちら</p>	<p>16 歴史と観光 NはNより かどうか / 疑問詞...か NというN 疑問詞 + でも...肯定 ので と(引用) こそあど</p>
<p>17 わたしの将来 V(よ)うとおもいます かもしれません の(名詞化) ために 意向形</p>	<p>18 学校行事 そうです(様態) Vておきます Vこと / Nになります Vこと / Nにします と(条件)</p>	<p>19 コミュニケーション V(ら)れます(受身) Vてもらいます Vてくれます そうです(伝聞) 受身形 のに</p>	<p>20 現在と未来 Vようになります みたいです / ようです Vてきます / Vていきます Vやすいです Vにくいです</p>



「せつめい編」
p. 98 - 99

「れんしゅう編」では、ことばの定着と使用のための61の練習を紹介しています。いっしょに日本語を勉強している学習者同士が日本語でもコミュニケーションができるようになることを目標にしています。練習は4技能のバランスに配慮されているだけでなく、様々な練習のアイデアも提供しています。また、海外の教授環境で、特別な準備や教具がなくてもできる練習を紹介しています。

「れんしゅう編」
p. 30 - 31





「れんしゅう編」p.94 - 97

2. 『続 教科書を作ろう』の利用

そく きょう かしょ つく りよう

『続 教科書を作ろう』からは、次のような教材や参考書を作ることができます。

「せつめい編」 + 「れんしゅう編」 学習者用の教科書、日本語教師研修用教材

「せつめい編」 学習者用の簡単な文法書、教師用の例文集

「れんしゅう編」 会話集、聴解教材、読解教材、作文教材、教室活動集

また、毎日の授業用のプリント教材、宿題の作成にも利用できます。

なお、この素材集の著作権は、国際交流基金にあります。利用にあたって許諾を得る必要はありません。

3. 入手方法

にゅうしゅ ほうほう

『続 教科書を作ろう』は、非売品ですので、書店などで購入することはできません。希望する学校、機関に無料で配布します。入手を希望する方は、国際交流基金日本語国際センターのホームページで直接申し込みいただくか、下記までご連絡ください。

ただし、本教材は、原則として海外の日本語教育支援を目的として制作されたものですので、発行部数の事情で国内の機関からの希望には応じられない場合がございます。ご了承ください。

国際交流基金日本語国際センター 制作事業課
 せいさく じぎょう かい
 〒336 0002 埼玉県さいたま市北浦和 5 6 36
 さいたまけん しきたうら わ
 TEL .048 834 1183 FAX .048-831 7846
<http://www.jpfi.go.jp/j/urawa/index.html>

『教科書を作ろう』をまだ入手していない方も上記にお申し込みください。なお、ホームページには『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』を完全掲載していますので、ダウンロードしてご利用いただくこともできます。

制作事業課では、ご利用後のご意見、ご提案もお待ちしております。来年には、ホームページの『教科書を作ろう』『続 教科書を作ろう』の内容を更に使いやすい形で提供し、皆様のご意見等を書き込んでいただける掲示板を用意する予定です。